

児童発達支援 <支援プログラム>

○健康で元気に遊ぶ体づくりを行う。

よく食べ・よく寝る⇒生活リズムを整えるに繋げる

○身辺自立（衣服の着脱・排泄）などの基本的な日常動作が出来るようになる。

定時排泄などのトイレトレーニングの実施

○食育⇒園芸（野菜を育てる）クッキング（作る楽しさ、食べる楽しさを味わう）

○所内（トランポリン・ハンモック・ブランコ遊び等の粗大遊び、ブロックやビーズ通し、シール貼り等の微細遊び）・所外（公園での遊具遊び、追いかっこ等）の遊びから自分の体を知り、身体の使い方を覚えていく。

大きな動き・小さな動きから力加減に繋げる

○色々な人・場所での体験的な活動の中から、自分の好きな感覚・嫌いな感覚を知る。

○所内・外の活動の中で、危険な場所や行為について、見る・触れる・感じることで危険場所の確認作業を行いながら、危険認知へと繋げる。
○毎日の日付・曜日・天候を意識した活動を行いながら、数概念に結び付ける。

○粘土・スライム遊びから手で操作することで形の変化を感じる。
○次の段階（移行支援）を見据えた、学習の在り方を一緒に探していく。（例：書く事への意識付け、ひらがなや文字に興味を持てる遊びなど）

○言葉遊びを通して発語の広がりにつなげる。
○「もの」⇒「ことば」へ代弁しながら、一致作業を行い、語彙を増やす作業を行う。

○自分以外の他者の存在に気づき、意識するようになる。（一人遊びから小集団のごっこ遊びへ）
○「順番」「待つ」「交代」など、友達と同じものを共有する時のルールを実体験しながら、学んでいく。
○「こんな時、どうするの？」を体験しながら、事業所以外の場所でも般化出来るようにする。

「やめて」「たすけて」⇒嫌な事に対して、拒否が出来る



家以外に安心出来る居場所・安心できる人を見つける。

子ども達の「やってみよう」気持ちを育てる

保護者・相談員・関係者と共に、連携しながら支援を行う

保育園・認定こども園
↓
小学校
支援学校小学部
↑
移行支援

**【個別の支援計画】
に基づいて行う！**

健康・生活

運動・感覚

認知・行動

言語・コミュニケーション

人間関係・社会性

曜日	月～金曜日	土曜日
午前	○個別設定活動 ⇒「静」の活動、「動」の活動を組み合わせた個々に応じた設定活動	○クッキング（買い物⇒調理⇒片づけ） ○所内・所外活動 ⇒思いっきり、体を動かす
昼 食		
午後	○午睡（年齢に応じて） ○学習支援 * 移行期の利用者に対して ○自由遊び ○おやつ ○設定活動	○自由活動（片付け・掃除） ○所外活動 ○おやつ